

令和4年度事業報告書

1. 「海の日」普及啓蒙事業

(1) 「海の日」記念式典の開催

祝日「海の日」記念式典及び海事関係功労者表彰式は、名古屋では、7月20日（水）に「ウイルあいち」において、中部運輸局、中部地方整備局、第四管区海上保安本部の主催により、被表彰者、来賓ご出席のもとに盛大に行われました。当協会から高橋会長だけが祝辞を述べました。当協会からは、被表彰者の方のうちわ等グッズを配布しました。また、7月5日には、愛知・岐阜運輸支局長表彰式が開催され、被表彰者の方のうちわ等グッズを配布しました。

その他の地区では、例年どおり中部運輸局運輸支局（海事事務所）及び海上保安部等の主催により、関係者の出席のもとに、盛大に表彰式が開催されました。

記念式典開催と被表彰者及び来賓等の出席状況

開催日時	会 場	被表彰者数	来 賓 等 数	合 計	備 考
7/20	ウイルあいち	97	7	104	名古屋
7/20	静岡市清水文化会館 (マリナート)	89	115	204	清 水
7/21	四日市商工会議所	11	57	68	四日市
7/22	鳥羽運輸総合庁舎会 議室	6	0	6	鳥 羽
7/27	敦賀市民文化センター	19	1	20	敦 賀
7/26	下田市民文化会館	27	16	43	下 田
計		249	196	445	

(2) 「海の日」・「海の月間」パレード

中部地区では名古屋市におけるパレードが7月18日に名古屋市西築地小学校から名古屋港ガーデン埠頭まで1時間の行程で行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

(3) 「海の日」・「海の月間」広報

「海の日」・「海の月間」行事として各地で行われるイベント等について、中部運輸局の協力をいただき一覧表を製作し、運輸局のホームページに掲載するとともに、ポスター

を関係先に配布し広報に努めました。なお、令和3年1月に当協会もホームページを開設しましたので、各地の行事を掲載しました。

(4) 「海の日」・「海の月間」海浜清掃の実施

名古屋港ガーデン埠頭一帯において、令和4年7月3日に海岸清掃を実施する予定でしたが、大雨の影響で中止としました。また、気比の松原海岸では8月に実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止されました。

実施された地域は、豊橋市高豊海岸（7月10日：参加者13名）、田子の浦港（令和5年1月22日；参加者1,055名）、伊東港（7月15日：約50名）でした。

(5) 「海の日」ポスターコンクール入賞作品の展示

日本海事広報協会（以下本部）が、毎年実施している「海の日」ポスターコンクールで、2022年度の入賞作品8点（大賞1点、優秀賞2点、佳作5点）を、本部の要請により7月19日～7月26日までの間、中部運輸局にもご協力いただき、名古屋合同庁舎第一号館（本局）、岐阜運輸支局内、三重運輸支局内、静岡運輸支局内、名古屋港ポートビル2階回廊ギャラリーに展示し、海事思想の普及啓蒙に努めました。

(6) 中学生の海の絵画コンクール

令和4年度中学生海の絵画コンクールは、中部運輸局、中部各県教育委員会の後援のもとに、中部5県下の中学生より作品を募集しました。

募集の結果、35校・1絵画教室・2個人より220点の応募があったので、審査会を6月15日に名古屋港ポートビルで行い、金賞1点（中部運輸局長賞）、銀賞3点（中部海事広報協会会長賞）、銅賞6点（同）、海の子賞4点（日本海事代理士会中部支部長賞）、佳作16点（中部海事広報協会会長賞）、計30点を選出しました。なお、金賞は西尾市立平坂中学校の森友里香さんが受賞されました。

これらの受賞作品を、名古屋港ポートビル2階回廊ギャラリーに令和4年8月22日～29日まで展示し、各地においても展示会を開催しました。さらに、サークルクラブ協会が実施した「令和4年度我ら海の子展」に金賞・銀賞・銅賞受賞作品10点を応募したところ、金賞受賞の森友里香さんと銅賞受賞の馬場日南さんがともに佳作に入選されました。

入賞者の表彰は、賞状及び副賞をそれぞれ本人の学校を通じて伝達をお願いしました。

県別応募状況

県別	学校数	応募数
愛知県	17校・1絵画教室・2個人	159
岐阜県	5	9
静岡県	3	31
三重県	9	20
福井県	1	1
合計	35校・1絵画教室・2個人	220

展示会開催状況

開催地	会場名	期間	観客数	展示数
名古屋市	名古屋港ポートビル	8/22～8/29	2,734	30
四日市市	四日市港ポートビル	7/30～8/14	3,337	19
合計			6,071	49

2. 海事思想普及事業

(1) 海事施設見学会及び講習会の開催

「船との出会い事業」として、当協会が主催又は共催、後援及び協賛した体験乗船会及び海事施設見学会等は、当初7月及び8月に計画していましたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。また、福井県坂井港でも8月に遊覧船によるツアーを計画していましたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。

唯一行われた体験乗船会は清水港で、2回71名でした。

静岡県海事広報協会は、これらの事業を実施するにあたり、参加者には「海のうちわ」、「タオル」、「パンフレット」等の広報資料を配布しました。

(2) 「海の日」の旗の掲揚

静岡市清水区、葵区において、国民の祝日「海の日」を広く一般に広報するため、「海の日」の旗を「海の月間」期間中関係行事の開催会場、係留船、及び地元商店街

の通りに掲揚しました。

(3) 小学生向け副教材の配布等

本部は、平成30年4月に完成した副教材（①児童用テキスト、②指導書、③ワークブック）を、30年度第2学期に豊橋市内の全小学校に無料提供し、10月に副教材を活用したモデル授業を実施してもらいました。さらに、12月に副教材に関して、教師と児童を対象にアンケートを実施しました。

副教材等の内容をより充実し、教師の方々に副教材を活用する際に役立てていただけるよう、令和4年7月に2回豊橋市内の小中学校の社会科担当教師を対象に海事施設見学会を計画しましたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。

今後とも、副教材の内容の充実を図ることがあれば、当協会も参画し、本部のお手伝いをするものとします。

(4) 広報宣伝資料の発行及び配布

広報宣伝資料の主なものは次のとおりでした。

- ① [海の日] 広告宣伝ポスター (7月初旬関係先へ配布)
- ② 海上の友 (月1回発行 販売)
- ③ 帆船のカレンダー (12月に会員配布)
- ④ 海事産業施設マップ：清水港 (各県海事広報協会、中部運輸局に完成版を配布)

本部から、昨年に引き続き令和4年5月に作成するよう指示があったので、静岡県海事広報協会のご協力をいただき、清水港の海事産業施設マップを令和4年12月に東京の業者に依頼し、完成版を作成しました。今後は、海事施設見学会等に活用します。

なお、来年度は、四日市港版を作成するために、三重県海事広報協会にご協力をお願いしています。

- ⑤ 第15回夏休み伊勢湾発見ツアーの実施に向けて実行委員会を設置し、6月9日に実行委員会を開催し、3年ぶりに8月22日に万全の感染対策を講じて実施することとしました。

※実行委員会の構成員 山原支部長・久里執行部員：全日本海員組合名古屋支部、黒田取締役総務部長：名港海運(株)、吉井課長：名古屋みなと振興財団、野田課長：日本モーターボート競走会東海支局、西原旅客課長：中部運輸局、西尾総務課長：中部地方整備局名古屋港湾事務所、川村総務課長：第四管区海上保安本部、千賀課長：名古屋港管理組合

オブサーバー 山本部長・森岡係長：伊勢湾フェリー(株)、島田団長：中日海洋少年団

中部管内の小中学生と保護者1組5名まで計250名を対象に、6月25日の中日新聞の朝刊に募集広告を掲載してもらったところ、544名の応募があったことから、

抽選により250名を選定しました。

当日は、182名（大人87名、子供95名）が参加し、名古屋港ガーデン埠頭からセントレア沖を折り返して帰ってくる約4時間の行程で、船内では、救命胴衣の着用指導、ロープワークの指導、手旗信号の披露などのイベントを実施しました。また、セントレア沖から帰ってくる途中で、海上保安部の巡視船「みずほ」と海上ヘリコプターがフェリーと併走するというサプライズが実施され、参加者は歓喜の声をあげていました。

参加者にあらかじめお願いしていたアンケートでは、85名（配付数95名：子供）の提出があり、イベントの感染対策は概ね好評で、特にサプライズが一番良かったとの感想が多くありました。また、「将来大人になったら海や船に関する仕事をしたいか」との問いに対して、24名の子供が「はい」と回答しており、取り組みの一定の成果があったものと思料されます。

- ⑥ 出前授業の実施に向けて、名古屋市教育委員会及び校長会会長の了解をいただき、令和3年11月に名古屋市立の全小学校262校に対して、出前授業の申込の案内を送付しました。

その結果、2校の小学校から申込がありましたので、中部運輸局及び海運会社の船長等のご協力をいただき、次のとおり実施しました。

1) オンラインによる出前授業

日時：令和4年7月11日

場所：名古屋市立上社小学校

対象：小学5年生87名

授業時間：13:40～14:25 45分間

講師等 協会挨拶：市川事務局長

講師：後藤次長（中部運輸局海事振興部）、吉井一等航海士（福寿船舶㈱）

内容 後藤次長から、パンフレット「海の仕事発見隊」を使用して、外航海運や内航海運が日常生活にいかに関わっているかを、また、吉井氏からは、ご本人が乗船した自動車専用船の内部等について、パワーポイントを使用してわかりやすく説明していただきました。児童達は、興味津々に聞きいっており、特に船内の豪華な夕食の写真に歓声が沸きました。

児童及び教師に対してアンケートをお願いしたところ、80名の児童から提出がありました。講演の内容については概ね好評で、「将来海に関する仕事はしたいと思いませんか」との問いには、15名が「はい」と答えており、授業の成果が一定あったものと思われます。

2) 対面方式による出前授業

日時：令和4年10月21日

場所：名古屋市立香流小学校

対象：小学6年生 117名

授業時間：10:40～11:25 45分間

講師等 協会挨拶：市川事務局長

後藤次長（中部運輸局海事振興部）、太田船長（日本郵船㈱名古屋支店）、吉野三等航海士（日本郵船㈱本社）

内容 後藤次長から、パンフレット「海の仕事発見隊」を使用して、外航海運や内航海運が日常生活にいかに関わっているかを、また、太田船長及び吉野航海士からは、パソコンを使用しているプロジェクターで、海運業や航海士の船内生活についてわかりやすく説明していただくとともに、写真を使用したバーチャル船内ツアーも実施していただきました。

児童達は、興味津々に聞き入っており、授業終了後も太田船長及び吉野航海士に対して、多くの児童が個別に熱心に質問していました。

児童及び教師に対してアンケートをお願いしたところ、116名の児童から提出がありました。講演の内容については概ね好評で、「将来海に関する仕事はしたいと思いますか」との問いには、23名が「はい」と答えており、授業の成果が一定あったものと思われる。

⑦ 夏休み 親子de名古屋港！

日本モーターボート競走会からの助成により、夏休み期間中親子で海に親しんでもらうために、当協会管内の小中学生とその保護者1組2名計50組100名に、名古屋港水族館及び名古屋港ポートビル3施設（展望室、海洋博物館、南極観測船ふじ）の共通入館券を無料で提供し、費用対効果を検証するために、後日アンケート用紙を送付してもらうこととしました。

この取り組みの募集広告を中日新聞の朝刊に掲載してもらったところ、264通の応募があったので、抽選により50組100名を選定し、次の資料を事前に送付しました。

アンケートを実施したところ、32組から送付があり、各施設とも概ね好評という内容で、これにより十分海に親しんでいただいたものと思料されます。また、「将来大人になったら、海や船に関係する仕事をしたいと思いませんか」との問いには、8名の子供が「はい」と回答しており、これにより、十分海に親しんでいただけたものと思料します。

(送付資料)

- ・ 4 施設共通入館券、中部海事広報協会の取り組み、パンフレット「海の仕事発見隊」、モーターボート競走関係資料、ペーパークラフト（伊勢湾フェリー株の伊勢丸）、アンケート用紙

3. 地 方 事 業

◎海事施設見学会（中部海事広報協会）

船との出会い事業として、名古屋市内の小学3年生～5年生とその保護者20組40名を対象に、7月下旬に名古屋港内の海事施設見学会（飛島南側コンテナターミナル、名古屋港管理組合所有の港務艇に乗船しての名古屋港内の見学、太平洋フェリー株の「いしかり」の船内見学）を計画しましたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。

7月頃に本部と豊橋市教育委員会の協力をいただき、副教材「海運と船と港の役割」の内容の充実を目的として、豊橋市内の小学5年生の社会科担当教師を対象に、自動車運搬船、新来島豊橋造船、豊橋倉庫のいずれかの見学会を2回計画しましたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。

名古屋市内の小学3年生～5年生を対象に、8月に海事施設（飛島ふ頭南側コンテナターミナル）を見学し、その後新聞作りの講義を受講してもらい、 SHIPPING ジャーナリスト賞に応募してもらうために見学会を計画しましたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。

◎ 清水港海洋教室：海事施設見学と体験乗船（静岡県海事広報協会）

静岡市山間部の小学生を令和4年7月7日と7月14日に69名招待し、清水港内の海事施設見学会を実施しました。参加者には「パンフレット」等の広報資料を配布しました。

◎ 浜名湖ボートレース場ペアーボート体験乗船会（静岡県海事広報協会）

8月～9月頃に計画していましたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。代替事業として、令和元年12月に同施設内に設置された「ボートレース場の親子の遊び場 M o o o v i（モーヴィ）浜名湖」と合わせ、モーターボートレースの収益金による活動領域等々のプレゼンテーション教育を浜名湖競艇企業団の方を講師に招き、静岡市内の山間部の小学生の生徒及び先生を対象に実施しました。また、親子での浜名湖競艇場への来訪を呼びかけました。

○実施日 令和4年7月7日及び14日

○実施場所 東海大学海洋博物館 団体会議室

○参加者 小学生59名、先生他10名 計69名

○実施内容

- ・ 講師：浜名湖競艇企業団宣伝課 村松氏
- ・ 同席：静岡県海事広報協会 大島・岡田
- ・ M o o o v i 浜名湖パンフレットを活用した同施設の説明
- ・ ボートレースの収益金についての説明（収益金が社会に貢献している）
- ・ 活動領域 「福祉車両配備」、「歯の妖精」等々の説明

・M o o o v i の家族入場券、B O A T O R A C E 浜名湖のハンカチを
1 0 0 セット配付しました。

◎津ボートレース場のジェットボート体験乗船会と中部運輸局職員による出前講座

(三重県海事広報協会)

令和4年7月に計画していましたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。なお、代替事業として、令和5年3月25日(土)に第28回「親子で学習! 四日市コンビナートクルーズ」を海や船と港の役割や大切さを知ってもらうことを目的として、小型船で四日市港を巡るイベントを実施しました。

開催にあたり、中部運輸局三重運輸支局四日市庁舎の担当官から、四日市港の概要説明と港や船舶について、クイズ形式の出前授業を実施していただきました。津市モーターボート事業部及び競走会津支部から提供いただいた景品を参加者に配布しました。クルーズは、「四日市コンビナート夜景クルーズ」を運航している第一観光のご協力をいただき、夜景クルーズと同じコースを回りました。

アンケートでは、「普段見られない港の光景が楽しめる貴重な体験になった」との意見がありました。

◎三国ボートレース場の見学会及び東尋坊遊覧ツアー(福井県海事広報協会)

モーターボート競走事業と連携し、福井県在住の親子(小中学生)を対象に海事産業やマリンスポーツ等を通じて海の恵みや関わりを体感し、海事思想の普及を図ることを目的に、ボートレース三国でバーチャルボートレース体験を7月30日に実施しました。

一般公募により、福井県在住の小中学生を含む親子20組40名を募集したところ、23組の応募がありましたので、抽選により20組40名を選定しました。

当日は、午前の部10組20名と午後の部10組20名に分けて、次の取り組みを実施しました。なお、感染対策として、受付時に検温・アルコール消毒を実施し、マスク着用を徹底しました。

午前及び午後ともに、モーターボート競走会三国支部の方から、競走事業の説明と売上金の一部が社会に貢献していることを説明していただきました。

- 1) バーチャルボートレース機器を活用して競技の迫力を体感してもらう。
- 2) 体験の後、三国競走場の内部を自由に見学してもらい、希望者には勝負服を着て写真撮影会も行う。
- 3) モーターボート競走の概要をわかりやすく説明する。
- 4) 例年実施していた遊覧船の乗船は中止とし、無料乗船券を配付する。

(送付資料) ・日本財団アニュアルレポート2021

- ・東尋坊観光遊覧船・越前松島水族館・そともめぐり遊覧船・海山漁協の乗船券等
- ・記念品(タオル、うちわ、ウェットティッシュ、ボールペン)

アンケートを実施したところ、参加者18名のうち18名から、各設問について次のとおり回答がありました。

- 1) これまで三国ボートレース場に来たことはありますか。
→56%の方が「今回初めて」と回答
 - 2) VR体験試乗について、どう思いましたか。
→14名の方が「楽しかった」と回答
 - 3) モーターボート競走の「マニュアルレポート」を読んで、どう思いましたか。
→14名の方が「売上金の一部が社会貢献していることがわかった」と回答
 - 4) 今回のイベント全体について、お伺いします。
→67%の方が「大変満足」と回答
- 以上のとおり、一定の成果があったものと思料します。

4. 庶務に関する事項

(1) 理事会・監事会及び総会

【令和4年度第1回理事会・監事会】

令和4年5月10日名古屋港湾会館において令和4年度第1回理事会・監事会を開催し、次の議題について、決議されました。

- ① 令和4年度通常総会（第58期）開催に関する件
- ② 令和3年度事業報告に関する件
- ③ 令和3年度収支決算に関する件
- ④ 役員を選任に関する件

【令和4年度通常総会】

令和4年5月27日名古屋港湾会館において令和4年度通常総会を開催し、次の議題について、決議されました。

- ① 令和4年度通常総会（第58期）開催に関する件
- ② 令和3年度事業報告及び収支決算の承認に関する件
- ③ 令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認に関する件
- ④ 役員を選任に関する件

【令和4年度第2回理事会・監事会】

5月27日総会終了後第2回理事会・監事会を開催し、代表理事の選定を行いました。

【令和4年度第3回理事会・監事会】

令和4年12月10日に名古屋海事広報協会とともに事務所を移転しましたので、令和4年11月17日に書面により第3回理事会・監事会を開催し、次の議題について決議されました。

- 事務所移転 現住所 名古屋市港区入船2-2-14 藤洋ビル3階
新住所 名古屋市港区入船1-5-8 JEIS名古屋ビル4階

【令和4年度第4回理事会・監事会】

令和5年2月24日に名古屋港湾会館において令和4年度第4回理事会・監事会を開催し、次の議題について、決議されました。

- ① 令和5年度事業計画（案）に関する件
- ② 令和5年度収支予算（案）に関する件
- ③ 令和5年度役員推薦に関する件
- ④ その他

(2) 全国事務局長会議

令和4年12月23日に3年ぶりに東京で、全国海事広報協会事務局長会議が一部の協会がオンライン参加で、開催されました。会議では、令和4年度上半期の各協会からの事業進捗報告と本部から令和5年度事業の説明があり、質疑応答がなされました。